

単元名 音のスケッチ(1)

配当時間 2時間

- 単元の目標 (1) 動機の変化のさせ方やフレーズのつなげ方について、それらの生み出すよさや面白さなどに関わらせて理解するとともに、リズムや音の高さを変化させて短いフレーズをつくったり、音楽の仕組みを用いて音楽をつくったりする技能を身に付けることができる。
- (2) 音の動き方やフレーズのつなげ方を聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、どのように全体のまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもつことができる。
- (3) 動機を基にした旋律づくりに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとする。

標準的な展開例

06070106_001

【教材名】動機をもとに音楽をつくろう（音楽づくり）

(P. 19)

【準備等】リコーダー、鍵盤ハーモニカ、鉄琴など

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1～2 動機を変化させながら音楽を構成する。</p> <p>★動機をもとに音楽をつくろう</p> <ul style="list-style-type: none"> ○知っている曲から動機を見付ける。 <ul style="list-style-type: none"> ・児童が知っている動機を発表し合う。 ・挙げられた動機を全員で演奏する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ねこふんじやつた ・チャイム など ○見付けた動機を変化させて演奏する。 <ul style="list-style-type: none"> ・教科書にある「The Sound of Music」や「運命」を参考に、変化のさせ方を確認する。 <ul style="list-style-type: none"> ・音を伸ばす。 ・音を短くする。 ・リズムを変える。 ・同じ音の動きで音の高さを変える。 ・動機の一部分を取り出したり繰り返したりする。 ・音の動きを逆さにする。 など ・確認した変化を使ってリレー奏する。 <p>○グループ又はペアで動機を変化させて音楽をつくる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・つくりたい曲のイメージなどを相談する。 ・どのように動機を変化させるかを考え、旋律やイメージに合った楽器を選ぶ。 ・グループ又はペアで表現の工夫、リレー奏の仕方を工夫する。 <p>○つくった音楽を交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループ又はペアでつくった音楽を発表し、よかったことや工夫するとよいことを伝え合う。 ・他のグループの工夫を参考にして、もう一度工夫し直したり発表し合ったりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・曲を特徴付けている短い音型を「動機」という。 ・音の動きがはっきりしていて分かりやすいもの、児童になじみのあるもの、演奏しやすいものがよい。 ・児童の実態に応じて、リレー奏の際に変化させた動機を数種類に絞り、選択させてもよい ・動機を変化させていくときは、単純なものから扱い、複雑なものや高い演奏技能を伴うものでなくとも豊かな表現ができることを確認し、児童が無理なく取り組めるよう配慮する <p>【共通事項】変化 フレーズ 反復</p> <p>【評】動機の変化のさせ方やフレーズのつなげ方について、それらの生み出すよさや面白さなどに関わらせて演奏する活動を通して「知識」を評価する。</p> <p>【評】リズムや音の高さを変化させて短いフレーズをつくる活動をとって「技能」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最初と最後は基になる動機を演奏するとまとまりやすいことを伝える。 <p>【評】音の動き方やフレーズのつなげ方を聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、音楽づくりをする活動を通して「思考・判断・表現」を評価する。</p> <p>【評】動機を基にした旋律づくりをする活動を通して「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p>

【 備 考 】